

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱		市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	個性的な市民文化・都市文化を創造する	取組の 基本方向	「個性的な市民文化・都市文化を創造する」ため、市民の自主的な文化活動を推進するための「文化活動環境の充実」、市民の文化遺産・伝統文化に対する意識を高めるため「文化的資源の掘り起こし、保存、継承」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	本市の誇りである地域文化が市民の手により生まれ、魅力あふれる個性的な市民文化・都市文化が創造されています。
--------------	--	----------------------	----------------	--------------------	-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------	-------------------------------------------------------

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	文化的資源の掘り起こし、保存、継承		④施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)	
	②施策目標			市民が文化遺産・伝統文化などの文化的資源を活用し、各々の地域に根ざした文化を守り、伝え、育んでいます。							
	③施策を取巻く環境			国・県等の動向 国においては、昨年、文化財を適切に保護しながら、観光や地域活性化を目的とした活用重視の補助金制度が成立した。今後、文化行政と観光やまちづくり行政との連携はもとより、地域住民、NPO法人、企業等とも連携を深めながら、一貫した計画的な取組が行われることが期待されている。 文化財においても東日本大震災に係る甚大な被害を受けており、国や県からの経済的支援等が困難な状況になっている。県においては、未来開拓プログラムの策定により文化財保護に係る補助金が削減されている状況である。 外部意見 その他 平成22年11月開催の文化財保護審議委員会において、文化資源を守り、伝えていく仕組みづくりのうち、学術、研究、活用の機能をもった施設の整備が必要ではないかという意見があった。また、文化財の愛護団体など、市民が自主的に文化を育てていくような事業を反映するような取組を進めていただきたいという意見があった。							
	市民の満足度			34.9%	市民の施策重要度	55.0%	達成度(単年度目標)	● 達成している(90%以上)	概ね達成(70%~90%未満)	達成していない(70%未満)	説明
⑤市民意識調査結果	優先して力を入れていくことが求められる領域		今後力を入れていくことが求められる領域		⑥施策の評価	必要性・緊急性(住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	文化財に関する市民からの問い合わせや照会の増加、年間8回実施している文化財めぐりも定員を超える応募があることから、市民の歴史や文化財に関する興味関心が高まっていると考えられる。
	見直し・効率化が求められる領域		重点的な取組が一段落したと考えられる領域			適切性(適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	● 不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	文化財保護団体の多くは高齢化が進んでおり、伝統文化を次世代に継承していくため、伝承者の育成を進める必要があることから、更なる普及・啓発が必要である。
	見直し・効率化が求められる領域		重点的な取組が一段落したと考えられる領域			有効性(政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	不十分である	説明	文化財保存団体や文化財ボランティアなどの市民団体との協働により、市民と地域と行政が一体となった文化財の保存活動が進んでいる。
⑦現状分析と課題の抽出(③⑤⑥を踏まえた分析)		成果が見られる点		市民団体などとの連携により、保存事業以外の活用等を含めた各種事業に取り組むことで、市民の文化財行政への満足度が高まっていると思われ、文化財の保存活動が進むなど、施策目標は概ね達成している。							
改善の必要な点		伝統文化の保存・継承については、市民の主体的な保存継承活動が重要であることから、地域への周知啓発や伝承者育成のための、特に次代を担う子どもたちへの更なる支援を進めていくことが必要である。また、本市の歴史的、文化的資源を多くの方々に広く周知するための活用を推進していく必要がある。									

3 今後の取組方針

⑧取組の考え方	総論	市民共有の財産である文化財を適切に保存しながら、まちづくり事業への導入・活用を図り、文化的資源を次代へ継承するための有効な取組みを実施する。	⑨政策評価 会議意見	同左
	重点事業	文化財を適切に保存し、さらに継承していくため、地域が主体となって取り組む仕組みづくりのうち、特に子どもたちに対する伝統文化の継承のための普及・啓発を推進する。		
	見直し事業	文化行政と観光やまちづくり行政との連携を図るとともに、文化財展示板の整備など市民に効果的に歴史的、文化的資源の情報を発信していくための事業の見直しを行う。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度(A~C)	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費(千円)	事業費(千円)			
1	宇都宮伝統文化継承事業 担当課 文化課	伝統文化継承団体及び市民	H20	伝統文化フェスティバル参加者	15,000	15,000	6,669	6,162	A	継続	本市の伝統文化の周知、継承及び伝承者の育成を図るため、伝統文化連絡協議会と連携をして伝統文化フェスティバルなど発表の場の確保に努めるとともに、特に子どもたちに対する「宮っ子伝統文化体験教室」や「わくわく体験教室」の開催により継承事業の周知・啓発に取り組む。
					17,000	15,000					
2	指定文化財等保存修理支援事業 担当課 文化課	市内に所在する指定文化財等	S31	保存修理事業件数	1	1	2,000	502	A	継続	今回の震災被害や経年劣化等による修復が必要な文化財が増加しているが、限られた予算での対応となるため、事前の調査や検討により計画的に復旧や修復を進めるとともに、様々な補助金の導入を検討するなど、効果的な支援に努める。
					1	2					
3	文化財調査事業 担当課 文化課	市内に所在する文化財	S42	発掘調査を行った文化財の件数	50	50	2,109	1,925	A	継続	発掘調査等により埋蔵文化財を適切に保存するとともに、指定文化財の保存や管理状況の調査を推進し、文化財の適切な保護に努める。
					45	30					
4	文化財周知啓発事業 担当課 文化課	市民	H3	普及啓発資料の発行部数	3,600	3,600	258	3,213	A	見直し	市民共有の財産である指定文化財の保存・活用を推進し、文化財愛護精神の高揚を図るため、文化財展示施設との活用や、文化財ボランティアとの連携、HPでの新たなコンテンツの開発、パンフレット発行などによる周知啓発の方法について検討する。
					3,500	5,200					
5	文化財施設の管理運営事業 担当課 文化課	旧藤原家住宅、うつのみや遺跡の広場、飛山城史跡公園	H17	文化財施設の入館者数	46,000	46,000	34,781	34,241	B	継続	本市の歴史や文化財の周知を図るために、各施設の機能と特色を活かし、指定管理者と連携をとりながら、魅力ある施設運営に取り組む。
					47,426	45,936					
6	上神主・茂原官衙遺跡発掘調査事業 担当課 文化課	国指定史跡「上神主・茂原官衙遺跡」	H20	発掘調査面積	2,500	2,000	4,037	3,114	B	継続	計画的かつ効率的な発掘調査を実施することにより、遺跡の全容解明と、適切な整備に向けた保存を進めるため、調査成果の詳細な検証作業を行う。
					1,000	450					

様式 2

7	上神主・茂原官衙遺跡公有地化事業	文化課	国指定史跡「上神主・茂原官衙遺跡」	H14	土地購入面積	7,301	4,199	53,729	48,672	B	継続	上神主・茂原官衙遺跡の恒久的な保存を図るため、土地所有者に事業への協力・理解を得ながら、史跡地内の土地の公有化を推進する。
	7,301					4,199						
8	大谷の名勝・文化的景観保存整備事業	文化課	大谷地域内の石勝指定・名勝指定候補地及び重要文化的景観選定候補地	H14	普及啓発事業の実施回数	5	5	393	27	B	継続	本市の景勝地である大谷の景観を、文化財としての観点から評価を行い、地域住民と連携し保存を図るため、関係各課と連携して普及・啓発事業を進める。
	8					3						
9	指定文化財等保存活動支援事業	文化課	指定文化財の保存・愛護活動に取り組む団体	S31	補助金の交付団体数	33	32	1,074	1,045	B	継続	地域に所在する指定文化財を保存・継承するため、地元の保存・愛護団体や所有者等の活動に対し支援を行っているが、経費的な支援が十分ではないため、団体間の人材交流による相互支援や、ボランティア団体との連携強化等の仕組みづくりに取り組む必要がある。
	38					36						
10	文化財ボランティア支援事業	文化課	宇都宮市文化財ボランティア協議会	H20	文化財ボランティアの会員数	130	130	100	82	C	継続	多くの市民に本市の歴史や文化財の周知・啓発を図るため、宇都宮市文化財ボランティア協議会と連携を図り、活動しやすい環境づくりを支援していく。
	128					114						
11	指定文化財管理支援事業	文化課	指定文化財・所有者	S31	補助を行った文化財の数	1	1	97	97	C	継続	老朽化する文化財を良好な状態で維持管理できるよう、所有者や管理者と密に連絡を取りながら、効果的な支援業務を実施する。
	1					1						
12	天然記念物保全事業	文化課	指定天然記念物	H20	保全事業を実施した天然記念物の件数	2	1	2,768	566	C	継続	天然記念物の保護を行い、将来に伝えていくために、所有者や管理者の理解を得ながら、継続的な管理を実施する。
	2					3						
施 策 事 業 費 合 計								105,247	99,080			